



日塗検

JPO308004

建物用床塗料 中塗り・下塗り

F ★ ★ ★ ★

## エポキシ樹脂耐久床用塗材

## フローンエポモル



重量物を置く床、フォークリフトなどが走る床  
ハードな耐久性、耐水性、耐薬品性を  
要求される床のために開発した  
厳しい条件に耐える、耐久床塗材です。

## ■特長 超耐久床塗材。いわば「樹脂で作った石」の床です。



耐久性



耐衝撃性



耐摩耗性



耐蝕性



作業性

## ■用途

1. 耐久性、耐水性、耐薬品性を要求される工場、倉庫の床。
2. フォークリフト、車両などが通行する床、重量物を置く床。

## ■製品仕様

### ● 容量・配合比

品名	容量			配合比(重量比)	
	A液	B液	セット	A液	B液
フローンエポモル	16kg	4kg	20kg	4	1
	8kg	2kg	10kg		

### ● 塗装面積

塗装面積	10㎡分	20㎡分
フローンエポモル	10kgセット	20kgセット
フローン珪砂5号	30kg(15kg×2袋)	60kg(15kg×4袋)
フローン珪砂6号	30kg(15kg×2袋)	60kg(15kg×4袋)

※モルタル5mm厚工法の場合、フローンエポモル：フローン珪砂(5号：6号=1:1)=1:6

### ● 性状

試験項目	試験結果	試験条件
外観	A液 透明粘稠液 B液 透明粘稠液	
粘度	400mPa・s	B型粘度計、23℃
歩行可能時間	12時間	23℃
可使用時間	40分	23℃

※試験結果は、弊社における試験に基づくもので、保証値ではありません。

### ● 一般物性(モルタル5mm厚工法)

試験項目	試験結果	試験条件
圧縮強さ	150N/mm <sup>2</sup>	JS K 6911
曲げ強さ	113N/mm <sup>2</sup>	JS K 6911
摩耗質量	64mg	JS K 7204 テーバー式摩耗試験機
アイゾット衝撃強さ	1.9J/m	JS K 6911
引張接着強さ	3.5N/mm <sup>2</sup>	JS A 5536 コンクリート、建研式

### ● 耐薬品性・耐油性

試験項目	結果	試験条件	試験項目	結果	試験条件
耐水性	◎	水道水、1ヵ月浸漬	耐アルカリ性	◎	10%苛性ソーダ、スポット試験48時間
耐塩水性	◎	20%塩水、スポット試験48時間		◎	10%アンモニア、スポット試験48時間
耐溶剤性	◎	トルエン、スポット試験48時間	耐生活材性	◎	飽和砂糖水、スポット試験48時間
	◎	キシレン、スポット試験48時間		◎	醤油、スポット試験48時間
	◎	エタノール、スポット試験48時間		◎	ソース、スポット試験48時間
耐酸性	◎	10%塩酸、スポット試験48時間	耐油性	◎	サラダ油、スポット試験48時間
	◎	10%硫酸、スポット試験48時間		◎	灯油、スポット試験48時間
	◎	10%硝酸、スポット試験48時間		◎	エンジンオイル、スポット試験48時間
	◎	10%酢酸、スポット試験48時間		◎	切削油、スポット試験48時間

※判定 ◎=異常なし ※スポット試験は、JS A 5705に準拠



東日本塗料

# 標準工法

工法名		工程	材料名	使用量 kg/m <sup>2</sup>	上塗可能時間 (23℃)	備考
モルタル工法 ※1		1	フロンプライマー-H	0.15	2~24	A液:B液=1:1(重量比)の割合で計量、混合、電動攪拌機で攪拌後、中毛ローラーにて塗布。
		2	フロンプライマー-H フローンパウダー	0.15 0.15	2~24	A液:B液=1:1(重量比)の割合で計量、電動攪拌機で攪拌したフロンプライマー-Hを1に対し、フローンパウダー1(重量比)の割合で計量、混合、電動攪拌機で攪拌後、中毛ローラーにて塗布。
		3	フローンエポモル	0.3	直後	A液:B液=4:1(重量比)の割合で計量、混合、電動攪拌機で攪拌後、中毛ローラー又は、コテにて塗布。
		4	フローンエポモル ソルエポキシナー フローン珪砂5号 フローン珪砂6号	1.0 0.1 3.0 3.0	24時間以上 (軽歩行開放時間)	A液:B液=4:1(重量比)の割合で計量、混合、電動攪拌機で攪拌したフローンエポモル1に対し、フローン珪砂5号3、フローン珪砂6号3(重量比)の割合で計量、ソルエポキシナーにて10%希釈し、混合、電動攪拌機で攪拌後、木ゴテ、金ゴテにて均一に塗布。
防滑工法		1	フロンプライマー-H	0.15	2~24	A液:B液=1:1(重量比)の割合で計量、混合、電動攪拌機で攪拌後、中毛ローラーにて塗布。
		2	フロンプライマー-H フローンパウダー	0.15 0.15	2~24	A液:B液=1:1(重量比)の割合で計量、電動攪拌機で攪拌したフロンプライマー-Hを1に対し、フローンパウダー1(重量比)の割合で計量、混合、電動攪拌機で攪拌後、中毛ローラーにて塗布。
		3	フローンエポモル	0.3	直後	A液:B液=4:1(重量比)の割合で計量、混合、電動攪拌機で攪拌後、中毛ローラー又は、コテにて塗布。
		4	フローンエポモル ソルエポキシナー フローン珪砂5号 フローン珪砂6号	1.0 0.1 3.0 3.0	12~24	A液:B液=4:1(重量比)の割合で計量、混合、電動攪拌機で攪拌した、フローンエポモル1に対し、フローン珪砂5号3、フローン珪砂6号3(重量比)の割合で計量、ソルエポキシナーにて10%希釈し、混合、電動攪拌機で攪拌後、木ゴテ、金ゴテにて均一に塗布。
		5	フローン樹脂モル目止め材	0.5	12~24	A液:B液=10:1(重量比)の割合で計量、混合、電動攪拌機で攪拌後、金ゴテにて塗布。
		6	フローンエポローラー	0.6	直後	A液:B液=6:1(重量比)の割合で計量、混合、電動攪拌機で攪拌後、フローンローラーNo.1にて塗布。
		7	フローン珪砂5号(追吹付)	1.8	12~48	工程6の直後、リシガン(口径3~4mmφ)にてフローン珪砂5号を散布。
		8	フローンエポローラー	0.6	24時間以上 (軽歩行開放時間)	A液:B液=6:1(重量比)の割合で計量、混合、電動攪拌機で攪拌後、フローンローラーNo.1にて塗布。

※1 モルタル仕上げの場合、食品カスやゴミが侵入し雑菌等が繁殖する恐れがあります。衛生を考慮する場合、この工法の採用は、避けて下さい。

## ご注意

### ■施工上のご注意

- 下地は、砂、ゴミ、ホコリ等を完全に除去して下さい。また、新設コンクリート、モルタル面の表面には、レイタンス(遊離アルカリ)による脆弱層が形成されるため、密着不良の原因となります。  
必ず、ワイヤー付きボリッシャー等でレイタンス層を完全に除去して下さい。
- コンクリート・モルタルの養生不足は、水分の影響によりフクレ、硬化不良を、また、アルカリの影響により密着不良が発生する恐れがあります。コンクリート・モルタルは打設後、常温乾燥で夏期3週間以上、冬期4週間以上の期間が必要です。目安として、含水率が高周波水分計ケット社製HI-500・HI-520で測定し、コンクリートレンジの表示値が5%以下かつpH9.5以下になってから施工して下さい。また、降雨直後で下地が水分を含んでいる場合は、2日以上乾燥させて下さい。
- フローンエポモルは、2液反応硬化型ですから、可使用時間に制限があります。施工時の温度、施工面積、作業人員等を考慮して、無駄の無いように材料を配合して下さい。
- ご使用になる環境を十分に考慮して、適正な材料と施工法を決定して下さい。
- 気温5℃以下、湿度80%以上では施工しないで下さい。  
硬化時間、硬化後の性能は、施工時の温度に大きく影響されます。

10℃以下 硬化後退 (カブリ、しわ、軟化発生)	15℃~25℃ 最適	30℃以上 硬化促進 (ポットライフ短縮)
--------------------------------	---------------	-----------------------------

- 常時、水を使用される部位については、あらかじめ下地モルタル等に水勾配をつけて下さい。
- 施工時には、引火、爆発、中等等の事故防止のため、十分な換気をし、有機ガス用防毒マスク、保護メガネ・手袋等、保護具を着用して下さい。発火原因となる電気溶接、ガス溶断との並行作業を避けて下さい。
- 直接皮膚に触れないように充分にご注意下さい。もし触れた場合は、ウエス等で十分に拭き取り中性洗剤で洗って下さい。
- 材料の保管、取り扱いについては、消防法、労働安全衛生法、その他に基づき、十分な管理をお願いします。
- 動植物に影響を及ぼす可能性がありますので、施工時および施工後の換気を充分に行ってください。
- 塗料、塗料容器、塗装具を廃棄するときは産業廃棄物として処理して下さい。

### ■メンテナンス

- 汚れのひどい場合は、中性洗剤を使用してモップで水洗いし、水洗い後は、充分乾燥させて下さい。滑り止め仕上げの場合も同様ですが、モップよりデッキブラシを使用したほうが効果があります。
- アルカリ、酸等、薬品が床にこぼれた場合は、直ちに水洗いを行い、調味料、油等の場合は、モップで拭き取って下さい。
- 万一、床に損傷が生じた場合は、その部分だけの補修が可能です。

引火性あり	警告	有害性あり	感作性あり
	<ol style="list-style-type: none"> <li>可燃性の液体である。</li> <li>健康に有害な物質を含有している。</li> <li>皮膚に付着するとかぶれを起こす恐れがある。</li> <li>蒸気を吸入すると人により喘息様症状を起こすことがある。</li> </ol>		カブレ 注意
業務用	<p>&lt;注意事項&gt;1.通常の塗料に比べて幾分毒性が強く、吸入したり皮膚に触れたりすると中毒やかぶれ、また、重い健康障害を起こす恐れがありますので、取扱いについては、<b>容器に表示された注意事項を守って下さい。</b></p> <p>2.アレルギー性等の特異体質、皮膚過敏症や呼吸器系疾患を有する人は、取扱いを避けて下さい。(呼吸困難や喘息を引き起こす恐れがあります。)</p> <p>※詳細な内容が必要な場合には、安全データシート(SDS)をご参照ください。</p>		

●お問い合わせは.....

## 東日本塗料株式会社



本社/〒124-0006 東京都葛飾区堀切3-25-18 TEL.03(3693)0851(代) FAX.03(3697)2306  
 埼玉工場/〒347-0017 埼玉県加須市南篠崎1-13 TEL.0480(65)1515(代) FAX.0480(65)1518  
 仙台営業所/〒983-0045 仙台市宮城野区宮城野1-4-20 TEL.022(291)7372(代) FAX.022(291)7320  
 新潟営業所/〒950-0871 新潟市東区山木戸3-7-9 TEL.025(273)5749(代) FAX.025(274)6730  
 静岡営業所/〒422-8037 静岡市駿河区下島128-1 TEL.054(238)8061(代) FAX.054(238)8063  
 北海道出張所 TEL.090(8586)2214 FAX.03(3697)2306



※製品改良のため、予告なく仕様、性能、カタログ内容を変更する場合があります。  
 ※諸官公庁等の特記仕様がある場合には、それを最優先して下さい。

URL <http://www.hnt-net.co.jp> CATALOG NO.13 '18.07.1,000